

平成27年第1回定例市議会議案記者会見市長挨拶

今回の定例市議会におきましては、まず、平成26年度3月補正として、昨年の12月27日に閣議決定された「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に沿った国の第1号補正予算に対しまして、観光及び商工、農政・水産振興や教育施設改築など積極的に対応することとしたことなどにより、9,060万円を増額し、補正後の予算総額は429億2,396万円となりました。

続きまして、平成27年度当初予算であります。財政健全化の確保と共に、国の政策を活かし地方創生に積極的に取り組み、事業の必要性や効果、将来の影響を見据え、無駄がなく実効性の高い施策を選択することで、予算の重点化を図っていく必要性などを踏まえつつ、『行ってみたい、住んでみたい中津市の実現に向けた予算』をキャッチフレーズとして予算編成に当たりました。

具体的には、重点施策として、①「住みよいまちづくり」を推進していくため、コミュニティ・活力活性化対策、過疎対策、生活環境対策に係る経費を計上しています。②「地域経済の活性化と産業の振興」を推進していくため、観光対策として、おんせん県デスティネーションキャンペーンに向けた情報発信と観光客受け入れ、きれいな街づくりに係る経費、また、「少人数」・「大規模」といった収益性向上のための新しい経営手法に取り組むなど構造改革による、農林畜水産業の振興に係る経費、新技術の普及促進・産業化として、3Dものづくり協議会への補助金などを計上しています。③「福祉・教育の充実」として、豊寿園や歴史民俗資料館などの建替え、永添運動公園の整備や学校のエアコン設置などに要する所要経費を計上しています。また、急速に進む国際化に対応できる人材育成のため、幼稚園から中学校までの外国青年による英語の授業や授業外でのふれあいの場づくり、新たな取り組みとして、中学生を対象とした海外短期留学研修など英会話教育の充実にも取り組みます。また、沖代条里や長者屋敷官衙遺跡など、奈良・平安時代古代遺跡群の保存整備を推進していくための経費を計上しています。最後に、④「自然環境を守り育む」ため、LED街路灯整備費や、住宅用太陽光発電システム設置等に対する補助金、有害鳥獣被害対策に係る経費などを計上しています。

この結果、一般会計の当初予算規模は、419億9,880万9千円と対前

年度比では2.2%の増となりました。

以上が今回の予算概要ですが、詳細につきましては、関係部課長より説明させていただきますので宜しくお願いします。